



## 月刊労千葉

91.9.20 No. 3465

## PKO・小選挙区制法案を廃案に



## なにがナライ!?

- ◇自衛隊の海外派兵に無制限に道を開けるものである。
- カンボジア派兵はそのための手がかりだ。
- ◇憲法を踏みにじり、武力行使を公認していくものだ
- ◇小選挙区制で自民党が一党独裁を可能にし、もって憲法改悪一徴兵制を復活させようとしている。
- ◇「国際貢献」という美名でごまかしているが、実は「戦争への貢献」なのである。
- ◇国際緊急援助隊法と自衛隊法の「改正」は、「災害救助」の名を借りて、アジア諸国にどしどし出動して実戦的な場数を踏ませ、実績と“侵略”的な既成事実化をはかろうとしている。PKO法案と一体のものである。

享月 9月19日

▼ 「PKO」廃案を要請  
婦人民主クラブ全国協議会行動に  
政府の「国連平和維持活動等に対する協力に関する法案」(PKO協力法案)に反対する「婦人民主クラブ全国協議会」(西村綾子代表)は十八日、国会を訪ね、PKO法案を審議する行動をするという。

衆院の特別委員会のメンバーに、廃案とするよう申し入れた。この後、会見し「この法案は憲法違反の、実質的な自衛隊派遣法案」との声明を出した。同協議会は十九日から連日、廃案に追い込むまで国会周辺で座り込みなど抗議行動をするという。

自民党は、証券疑惑の追及をなんとか切り抜け、公明党、民社党を抱きこんでPKO法案の今国会での成立を狙つている。仮にこれが成立しない場合でも最低限、国際緊急援助隊法を「改正」する腹がまえである。

われわれは、この恐るべき戦争法案をなにがなんでも廃案に追込まなければならぬ。

あわせて、自衛隊法の「改悪」、国際緊急援助隊法の「改悪」も提案した。政府・自民党は、PKO法案を、一九日の臨時閣議で了承し、国会に提出することを決定した。

手遅れにならぬ前に、今、ここで声を発し、行動に立とう。

今、人民・大衆の中には、腐敗と戦争政策に対する怒りと危機感が急速に高まっている。

九月一〇日の「インディペンデンス」反対、横須賀集会を見よ。おりから台風を突いて九五〇〇名が臨海公園をうずめつくり、「戦争反対」を訴えている。われわれの、今夏連続闘争が、全体を動かす原動力となっている。

さらに職場での討論、ビラまき、集会、デモ等で、PKO法案・小選挙区制法案を廃案に追込もう。

## 一つ一つの行動の積み重ねで侵略戦争を阻む力

◀ 9.16三里塚現地闘争  
▶ 9.10インディペンデンス横須賀母港化反対闘争

## 連続決起



決意を語る敷地内の市東東市さん



米軍横須賀基地に怒りのシュプレヒコールをたたきつける交流センターのデモ隊